



第 32 号

平成 30 年 7 月
会長 岡本 諒

レクリエーション いちご採りと温泉

汗ばむほどの陽気となった 6 月 24 日（日）この行事には 42 名（子供 7 人）が参加しました。

目的地は南区八剣山の山麓にある桜井農園、今年で 4 回目の訪問となりました。ハウスの中に入ったとたん、甘いいちごの香りに包まれ、ちょっと小さいけれど甘いいちごを楽しみました。



採り尽くされた頃合い、新たに露地の新しい畝が解放され、粒の大きなものも採ることが出来、皆さん満足の様子でした。

この付近は、八剣山パークゴルフ場をはじめ話題のパン屋さんやワイナリーがあり、家族で来ても楽しめるところです。

昼食はパークゴルフ場のレストランでジンギスカン、レストランサービスの野菜

の福引もあり和やかな懇談のひと時を過ごしました。

集合写真を撮った後、定山溪の「ホテルミリオネ」で入浴、お腹も心も満たされた一日となりました。

なお、来年は、9 月に「ぶどう採り」に変更し実施する予定です。



班長交代のお知らせ

8 月 1 日から 2 区 11 班の班長は、都合により東俊孝さんから松谷佳光さんに交代しました。

和やかに 150 名が懇親の輪

6月17日（日）少し肌寒さを感じる一日、恒例の厚別川河川敷の草刈り、その後、今年は会場を例年の北野第二公園から第一公園に移しての野外懇親会が行われました。



焼き鳥、焼きそば、ジンギスカン（実は豚肉）といつものメニューと生ビールソフトドリンク、寒さのせい、昨年より少し少ない150名が参加。

防寒対策をして、それぞれのテーブルには笑顔いっぱいの懇親の輪が広がりました。



奮闘中の裏方さん達の方から

焼き鳥

焼きそば

ジンギスカン

災害に備え防災訓練の実施

全国的な大雨による災害が連日報道されている最中の7月8日(日)防災訓練が行われました。

今年も、清田消防署北野出張所から後藤係長他3名の署員が参加、防災の指導をしていただきました。

最初に、防災資材の使い方。防災資材は、阪神淡路大震災の教訓から、地域住民による救護活動の重要性が認識され、住民組織に支給されたもので、特に、ダルマジャッキや担架の使い方、バケツリレーの要領を学びました。

また今回初めてロープの結び方(①巻結び②舳結び③本結び)について詳しく教えていただきました。特に舳結びには皆さん大苦戦、頭の固さを自覚させられました。

最後は、消火器の使い方訓練。今年は例年より多い約50名が参加、消防署のお話にも内容があり、充実した訓練となりました。

女性部研修旅行

白い恋人パーク
北海道新聞総合印刷工場

7月25日(水)快晴の中、参加者は19名と少ない人数でしたが、ホテルサンプラザの迎いのバスで午前8時45分、北野第二公園を出発しました。

最初に訪れたのは、「白い恋人パーク」(西区宮の沢)で、すごい人、人、人の波。

まず、「弁慶号」と名付けられた白い恋人鉄道に乗り、その後ローズガーデンやお菓子のショップ等、皆さん自由に見学しました。

ホテルのランチの最中に抽選会を行い、各々景品で楽しんでいただきました。

次の見学地「北海道新聞総合印刷工場」(北広島市大曲工業団地)は、とても大きく立派な施設でした。



案内の女性の言葉に皆さん「へえ～、そうなんだ～」等と感心したり、ビックリしたり・・・。

うれしかったのは今日の記念としてみんなで写した写真入の新聞を頂いたことでした。

(女性部長 和佐田 記)

北海道新聞総合印刷工場
入口にて

第 2 回役員・班長会議が開催される

7 月 22 日（日）第 2 回役員・班長会議が開催され、岡本会長からは、①高齢化率 45.2%という現状に関する様々な課題について②当自治会の財政の逼迫状況について、③災害多発の状況から防災意識の高揚についてお話がありました。

会議に入り、7 月後半から 9 月までの事業について実施方法など説明がありました。

続いて自治会費の徴収日について、5 月と 10 月の 1 日～10 日までに班長が集金するように内規の変更が承認されました。

電子回覧板のアンケートの実施方法について様々な意見が出され関心の高さが感じられました。

また、自治会が所有している AED(自動体外式除細動器)は平成 22 年 11 月に購入したものであるが耐用年数が経過しており使用できない状態であります。

新規購入すると 270,000 円程するが、必要性や管理上の問題などから全会一致で更新しないことに決定いたしました。

ごみステーションダストボックスを新型で更新

当自治会のごみステーションには平成 24 年度からサークル式のダストボックスを設置しておりますが、最近、老朽化が進み、また、カラスなどによる散乱被害あり、その対策として、折り畳み式のものに変更することになっていました。

町内にはごみステーションが 15 か所ありますが、更新に当たっては、財源の制約から毎年 5 か所ずつ 3 か年にて実施する計画で、今年は 6 月 8 日（金）特に傷みが著しいところについて設置されました。

新ボックスは、蓋がついていて、①カラスからの被害を受けにくい②取り扱いが容易③かさばらないなどの利点があり、幅 1,150、奥行き 900、高さ 900 で 45 ℓのごみ袋 15～20 個入る大きさです。

会員の皆様には引き続きごみステーションの管理についてご協力をお願いいたします。



折りたたんだ状態



組み立てた状態